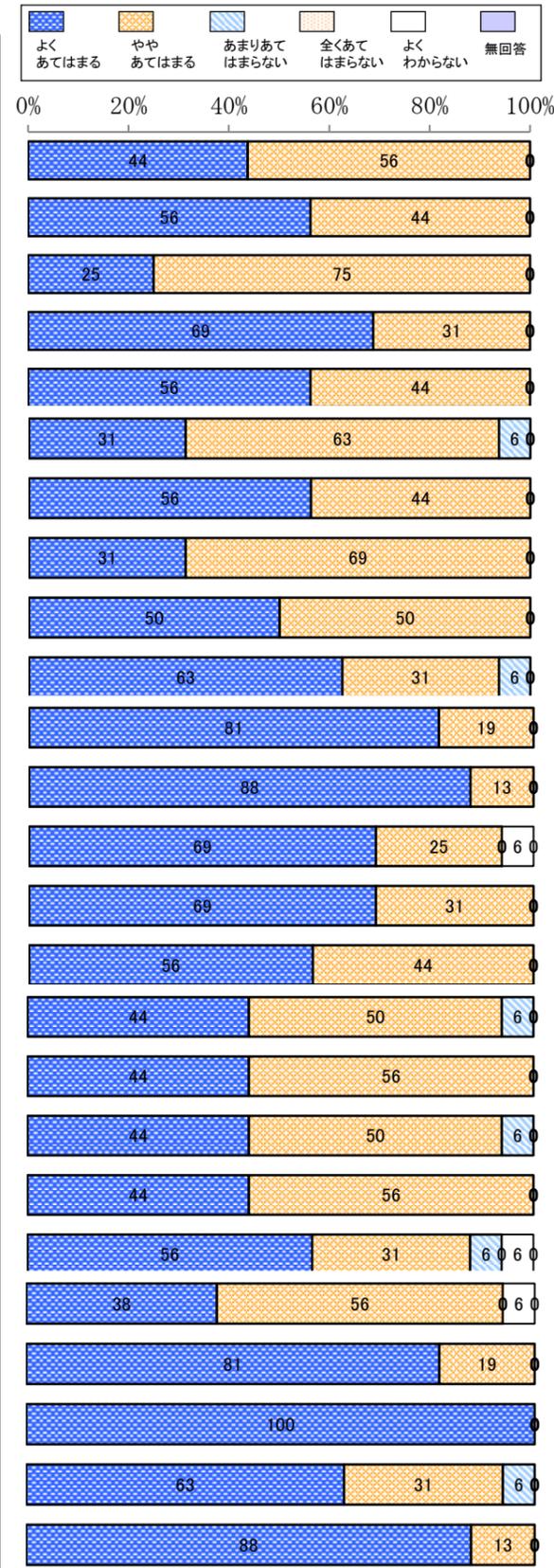


		アンケートの結果		上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員						
				A	B	C	D	よく分らない	無答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	46	47	5	1	1	0	
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	72	25	2	0	1	0	
	3	基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	51	48	1	0	1	0	
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	37	51	8	1	3	0	
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	57	39	2	0	2	0	
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	40	51	7	0	2	0	
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	37	48	11	1	4	0	
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	19	27	44	9	1	0	
	9	情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	49	44	6	0	1	0	
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	32	48	16	3	1	0	
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	58	37	3	0	2	0	
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	64	30	5	0	1	0	
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	37	39	17	3	3	0	
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	70	24	4	1	1	0	
	15	自主的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自主的に活動できるように工夫しながら指導している。	53	42	3	1	2	0	
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	33	36	10	2	19	0	
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	51	37	3	1	9	0	
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	57	35	6	1	2	0	
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	19	34	33	12	2	0	
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	45	40	7	1	8	0	
各学校の特色ある教育	21	学力の向上	ICT、スタディサプリ等を活用し、家庭学習の充実を図り、授業や補充教室、各種検定などとともに、それぞれの内容を関連させた取り組みになっている。	31	41	24	2	2	0	
	22	生活・進路指導の充実	ノーチャイムの実施、委員会や各行事の生徒が中心となった取り組みを通して、生徒の自主的・実践的な態度を育成している。	43	47	8	1	2	0	
	23	外部人材の活用	講師による合唱、箏や三味線の指導や放課後寺子屋、まごころ面接など、外部人材等を有効に活用している。	34	41	22	1	3	0	
	24	オンラインシステムの活用	スクリーンを利用した学校だより等の配信、欠席連絡の確認、学校ホームページやXの更新など、オンラインシステムを有効に活用している。	38	39	14	1	8	0	
	25	校外行事の充実	校外学習や修学旅行などを通して、学習に対する興味や関心を高め、生徒自身の変容を促す機会としている。	56	36	7	1	2	0	

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）	
1	生徒、保護者ともにA、Bの回答割合が90%を超えている。引き続き、本校の教育目標及び方針を丁寧に説明し、実践できるようにしていく。
2	生徒は97%、保護者は91%以上の割合で肯定的な評価が得られた。保護者、地域、学校が三位一体となって、教育活動を進めることができた結果と考える。
3	昨年度に続き、 生徒99% が基本的な生活習慣が身に付いていると答えている。規範意識の向上に向け、指導を継続していく。
4	生徒理解に関する研修会を行い、個々の特性に応じた指導を全教職員 100% ができるよう研鑽している。より一層きめ細かい指導の展開を実現していく。 生徒
5	生徒A、B の回答割合が95%を超えているが、保護者は86%とやや低い。様々なケースを想定した月1回の安全指導と避難訓練を実施している為、アナウンスを
6	生徒の90%は肯定的だが、保護者の「分からない」の回答が27%あり、授業を十分に公開できていないと考えられる。公開授業の内容を周知し、開かれた学校を
7	英語と数学で習熟度別授業を展開しているが、生徒、保護者の24%が「よく分からない」と回答している。より一層生徒理解を深め、個に応じた指導を進めてい
8	生徒の53%がC、Dと回答している。タブレットPCの学習用アプリ等の活用を授業内でも進め、家庭学習を進めることができる学習習慣を定着させていきたい。
9	生徒の93%は肯定的な意見で、各教室の電子黒板や1人1台のタブレットPCを使った調べ学習や長期休業中の家庭学習において、積極的に活用できた。
10	保護者の「分からない」の回答が30%を超えている。X等を活用したり、学校便りに掲載することで、図書館での活動場面を伝える工夫を行っていく。
11	全教職員が高い人権意識をもって、日々の教育活動にあたっており、生徒のA、Bの回答割合は90%を超えている。今後も教育活動全体を通じて人権教育を進
12	道徳教育年間指導計画に基づき、全教員が道徳性をはぐくむ教育を行っている。94%以上の生徒から肯定的な回答を得られたのはその成果であるとする。
13	肯定的な意見がある一方で、「分からない」と回答した保護者が25%であった。エンジェルルーム(登校支援室)の運営、SC等による支援体制の確立をアナウンスして
14	生徒、保護者ともにA、Bの回答割合が90%を超えている。運動会、校外学習、修学旅行などの学校行事に対して、生徒主体で練習や準備に取り組むことがで
15	生徒、保護者、教職員の多くが肯定的な意見である一方で、一定数「分からない」と回答する保護者がある。生徒が委員会活動等を主体的に運営できるよう、
16	保護者に比べ、生徒の肯定的回答が69%と低い。各種便り、学校HPやXなど様々な媒体で情報を発信しているが、生徒の目に触れる紙媒体での発信も必要
17	生徒、保護者ともにA、Bの回答割合が80%を超えている。引き続き、生徒や保護者からの相談に対して、迅速かつ丁寧に対応することを心がける。
18	オープンスクールの土曜授業公開を実施することができた。今年度からオープンスクールの日数が限られた為か、保護者のA、Bの回答割合が90%から減少し
19	生徒の肯定的回答は53%、保護者の肯定的回答は64%と他の項目に比べて振るわない部分であり、地域のイベントやボランティア活動等への参加を促す指導
20	肯定的な回答がある一方で、「分からない」と回答した保護者の割合が29%あった。三者面談などで寄せられた意見を、スピーディーに対応し、改善につなげて
21	多くの生徒が家庭学習に前向きに取り組んでいる。教員は校内研修等で具体的な授業力向上の手立てを研究し、学力向上への取り組みを継続していく。
22	生徒・保護者とも肯定的な評価の割合が高く、生徒の自主性を活かした学校の取り組みの結果が反映されている。今後も継続していく。
23	外部人材を活用した取組が多くある。今後もよりよい教育活動の内容を実現できるようにするための外部人材確保に努めていきたい。
24	「スクリーン」に対する評価が高かったが、配信者の設定ミス等もあったことから、配信時の複数名での確認を怠らないようにして正確に発信していく。
25	全学年で宿泊行事や校外学習を実施することができた。事前や事後の学習を充実させることによって、生徒・保護者共に高い満足度になっている。